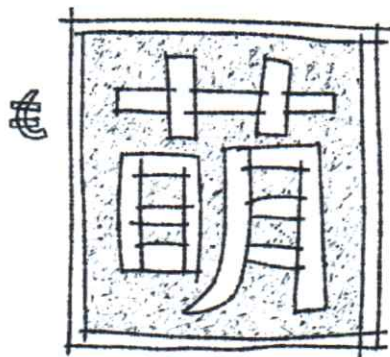


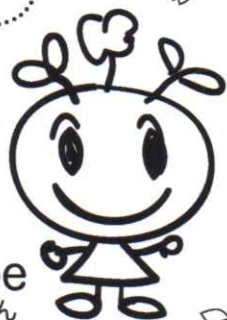


平成 18 年 3 月 8 日

発行：宮崎中学校区地域教育会議
議長：持田正美

宮崎中学校区地域教育会議だより

第16号



moe
ちゃん

「萌」は子どもたちの
成長を見守っています。

卒業、入学、
おめでとう！



「大人が変われば
子どもも変わる」

ポスター展開催

子どもたちが描いた「マナー」ポスター

宮崎中学校区地域教育会議主催のポスター展が、宮前区役所にて開催されました。(1月30日～2月13日)

このポスターは、「大人が変われば子どもも変わる」運動の一環として、宮崎中学校、宮崎小学校、西梶ヶ谷小学校、梶ヶ谷小学校、及び地域に「マナー」をテーマとしたポスターを募集したもので、今年も子どもたちから多数の応募がありました。



「タバコのポイ捨て」「携帯電話のマナー違反」「町をきれいに・・・」「地球温暖化を防ごう」等々。期間中、子どもたちのポスターは訪れる人たちの目を引いていました。

「タバコのポイ捨て」「携帯電話のマナー違反」「町をきれいに・・・」「地球温暖化を防ごう」等々。期間中、子どもたちのポスターは訪れる人たちの目を引いていました。



このポスターの展示を通して、運動の輪がひろげられ、と思います。(目代)

宮崎中学校区地域教育会議は、川崎市教育委員会と川崎市地域教育会議推進協議会の委託事業です。「市民が自らの責任として教育を行うための自主的・民主的組織」であり、非営利、非宗教、非政党を旨とする団体として、平成10年度に発足しました。各学校の保護者・教職員・地域住民が参加し、地域の子育て、住民の生涯学習支援を目的とした活動をしています。

わくわくプラザの
子どもたち

100人に聞きました!

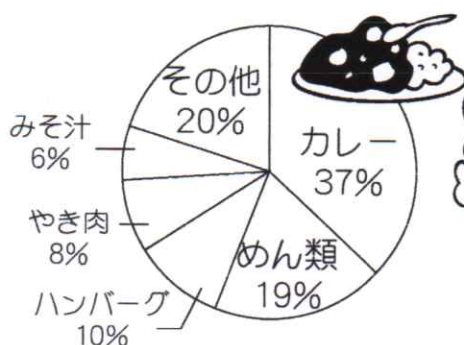


地域教育委員会では、毎年行っている「子ども座談会」の代わりに、今回は、宮崎小学校、梶ヶ谷小学校、西梶ヶ谷小学校のわくわくプラザのご協力を頂き、アンケート調査を実施しました。

平成17年10月6日実施

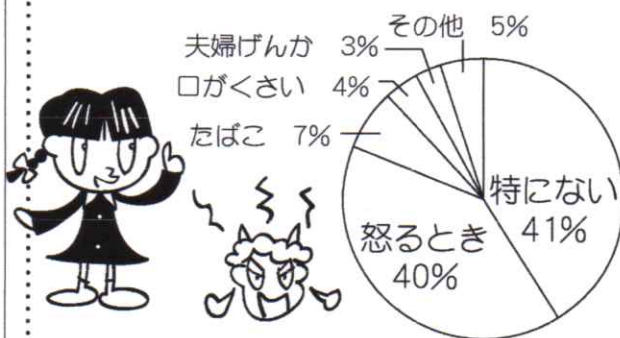


②おうちの人が作ってくれる料理で、何が一番好き?



家庭で食べる料理が一番おいしいのではないですか。

③大人のいやなところは?



大人として反省していただけたら...と思います。

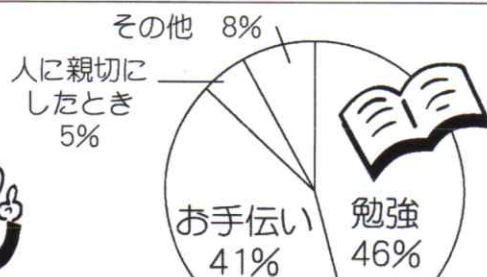


明るく素直な子どもたち

座談会と違い不特定多数の子どもたちの意見を聞くことができたのと同時に、子どもたちとの触れあいの機会が持てたことはとても有意義でした。また、明るく素直な子どもたちが多いことに安堵感も覚えました。

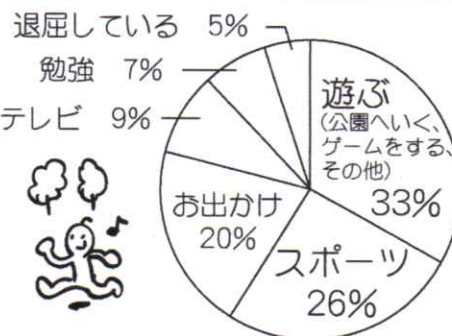
(地域教育委員会 加瀬)

①どんなことでほめられたことがありますか?



ほめられるのはうれしいことですね。子どもの良いところをできるだけ多く見つけたいものです。

④お休みの日はどうすごしていますか?



子どもとのふれあいの時間を大切にしたいものです。

*わくわくプラザとは



保護者などが就労等によって昼間家庭にいない児童も含めて、全ての児童が心から遊びなどを楽しめるよう、小学校の1年生から6年生を対象とし、放課後や学校の休業日(日、祝をのぞく)に小学校の施設を利用して遊びや様々な活動をする事業です。授業を終了した後、そのまま学校施設(プラザ室など)を利用します。川崎市では平成15年度から市内すべての市立小学校で開設されています。

学校訪問

第3回 西梶ヶ谷小学校

今回はアンケート形式で、お答えいただきました。回答して下さったのは、金津先生です。

西梶ヶ谷小学校の金津です。「あくまで私見て」お答えいたします。



1. 西梶ヶ谷小学校の特色といったものはありますか？

長年にわたって「若草活動」(縦わり活動)を行っています。これが一つの特色といえます。また、今年度は、「特別非常勤講師事業」を実施しました。ある分野の専門家をお招きして、授業を行っていただくというものです。狂言、語り、ピアノ演奏を計8回実施しました。とくにピアノ演奏は工夫を凝らした授業で、子どもたちにとても好評でした。



2. このところ青少年の凶悪事件をよく耳にします。そのこともあって「萌」では「命の大切さ」をテーマとしているのですが、こういった犯罪について、何かお考えがありますか。また、先生方が生徒に話をされることがありますか？

新聞などでそうした事件を知るたびに「なぜ？」という気持ちです。たくさんの「専門家」と言われる人たちの「解説(?)」を聞いても、部分的には納得するものの、疑問符が払拭されることはありません。複雑な社会になり、複合的な要素が絡み合っていることとしか言えないのだと感じます。もちろん、子どもたちに朝の会などで話すことはあります。人の気持ちを感じることでできる人になってほしいと思って話します。そのためにも、たくさんのいい友だちの中で育ってほしいものです。



3. 「命の大切さ」を子どもたちに理解してもらうために、ペットや学校で飼われている生き物にふれることは有効だと思われますか？

我が家には2匹の犬がいます。ペットは確かにかわいいものです。でも、それが命の大切さに結びついているかは疑問です。飼い主の都合で自由を束縛されているのかもしれないのですから。ただ、学校では生き物の好きな子たちがとても熱心に世話をしています。そのなかで、ごくまれに鶏の死に直面す

ることもあり、そのような経験から学んでくれれば、と思います。



4. 登下校の安全について、どのような配慮をなさっていますか？ また、地域からの協力はあるですか？

不審者の情報があるたびに、警告の文書を出し、一斉下校などを実施しています。学級での指導も、ことあるごとに繰り返しています。また、学区にある各町内会の人たちと「地域安全協議会」を設立し、できるだけ大勢の目で子どもたちを見守っていかうと活動しています。また、保護者の皆さんも、オレンジの腕章や自転車に表示をつけて、常に子どもたちの安全に配慮して下さっています。



これが腕章だよ！



5. 地域に望むことが何かありますか？

地域の皆さんの、地域や学校やへの協力はとてもすばらしいと思います。お父さん方に、もっとたくさん学校へ顔を出してほしいです。



6. 広報メンバー内で、年上あるいは年下の子どもとの交わりが、以前と比べて減っているのでは、との意見がありますが、学校で学年間の縦わりの交わりはありますか？ また、取り組まれていることはありますか？

最初の質問でも申し上げた、「若草活動」という縦わり活動を実施しています。4色に分け、各色がさらに6班に分かれます。主な活動としては、運動会、若草給食があり、そのほかに何回か一緒に遊ぶ活動を設けています。今年の若草給食は、好天に恵まれ、隣接する公園などでとても楽しい会食ができました。



8. 子どもたちに望むことは？

教師としての立場上、「明るい未来」を前提に子どもたちと話すようにしていますが、実際はどうかのでしょうか。難しい世の中なのは事実ですから、まわりに流されない、自分と世の中をしっかり見つめて生きる大人になってほしいものです。



金津先生、お忙しい中、ありがとうございました。



ITの脅威

自分を守るには、加害者にならないためには

講演会を開催しました。

生涯委員会では、12月16日(水)、宮崎中学校体育館にて、全学年生徒、希望する保護者と地域の方を対象に「ITの脅威、自分を守るには、加害者にならないためには」というテーマの講演会を学校と協賛で開催しました。講師には、稗原小学校PTA会長の田島さんをお迎えしてインターネットや携帯電話での悪意ある行為を防止するために実際の例を述べながら、対処方法についてお話をいただきました。生徒を対象にしたお話でとお願いしたので、保護者や地域の皆さんには、少しわかりづらい部分もありましたが、生徒たちからはたくさんの質問が出ていました。保護者向けのお話の用意もあるとのことなので、また別の機会にでも、お話を聞けたらと思います。

(生涯委員会 大久保)

◎インフォメーション

入学式 4月5日(水)

各小学校 午前10時

中学校 午後1時30分



メンバー募集!!

私たちが住むまちと子どものことについて いっしょに考えてみませんか

地域教育会議では、活動に参加して下さる方を募集しております。当会議は、「あったかまつり」開催、講演会、子ども会議、「大人が変われば子どもも変わる運動」などの活動を通して子どもたちを取り巻く地域の環境作りに取り組んでいます。お気軽に、事務局までお問い合わせ下さい。

〒216-0035 宮前区馬絹 1795

宮崎小学校内地域教育会議事務局 本多、富田

☎ 044-866-2218/044-866-2217

つうぐ

あなたは「鈍」ですか？

3月、4月は卒業式、入学式の月で、子どもを持つ親ごさんは大変である。又、成人にとっては新人として、職場人になる月であり、一方、長期の職場人として退職の月、第二の職場人としての出発月であるから、各家庭によって様々な思いがある、きわめて貴重な月でもある。人間生活の長い過程の中で大きな節目である。大きく大切な節目として誰もが十分に認識することが大切である。

私たちの居住地を中心とする本会の皆さんも、十分に認識してほしい。そして、提言があるのです。男性も女性も、若年層も高齢層も、人間として意義のある生活をおくるために、常に「運」と「鈍」と「根」の3つを心にしっかりとかかえて下さい。つまり、運命、鈍感、根性のことです。今回は鈍感について、私の考えを述べましょう。

「鈍感」とは、賢い、すばしっこい、の反対語ですが、賢いということが、いけないというのではない。物ごとを、あまりにも打算的に考えて、損得で事を判断するのがいけないというのです。自分には得にならないことでも、事によっては、しなくてはならないこともあるし、他人のためには、損得、利害を度外視して、協力しなくてはならないことがあるのです。自分の選んだ職業が、あまりもうからない仕事であっても、他人からバカ者扱いにされるほどに、精魂をうちこむのも、私の主張する鈍感になります。

これが、今いわれる奉仕の心なのです。おわかりでしょうか。今、小学生が殺害にあうのも若年層の親たちに奉仕の心が欠けているのです。

(及川利男)

編集後記

3回目のインタビューはアンケートにして、少し楽をしてしまいました。金津先生、すばやい回答ありがとうございました。「命の大切さ」とは、実生活においては「人間関係」と言い換えられるかもしれません。「萌」の制作に関わることでこそしずつ私の人間関係も豊かになっている気がします。(前田)

企画・構成：広報委員会

前田達彦 北原玲子 及川利男 鈴木栄子 斉藤重喜 村田篤 佐藤香代子 伊藤隆司

協力：梶ヶ谷小学校PTA

「萌」へのご意見、ご感想は、上記事務局またはEメール：tatsuno04510@yahoo.co.jp まで